

平成27年度 学校自己評価表 (計画段階・実施段階) 私立 東海大学附属福岡高等学校

学校運営計画 (4月)				
学 園 運 営 方 針	若き日に汝の思想を培え 若き日に汝の体軀を養え 若き日に汝の智能を磨け 若き日に汝の希望を星につなげ四つの言葉を基本理念として、人権尊重の精神に立脚し、人間・自然・歴史・世界・文明などに対する幅広い視野や、人生の基礎となる思想を養い、人生の意義について自ら学び考える力を育成する。21世紀を担う豊かな人間性を備えた創造性豊かな人材の育成をめざす。			
学 校 運 営 方 針	私学の存在意義は、建学の精神に沿った教育と、時代の要請に応え柔軟に対応する特色ある教育にある。本校の教育は学園の基本方針に沿って、本来あるべき高校生活を十二分に展開する中で学習と教科外活動(部活動等)の両立に立脚した「人間性豊かで社会に貢献できる人材の育成」をめざす。また情報化・国際化の進展に対応し、それぞれの教科においてその目的に沿った教育を展開する。併せて、地域社会との教育的連携・貢献をはかり、地域の要請に応える。			
27年度学校重点目標				
昨年度の成果と課題	実践最重点目標	具体的目標	評価(3月)	成果と課題
27年度校務分掌・学年重点目標				
昨年度の成果と課題	分掌・学年	分掌・学年重点努力目標	具体的方策	平均
<p>円滑に授業を実施するための時間割管理は、概ね年間を通して実行できている。しかしながら、週に一步進めての生徒の学力向上への取り組みは、まだ充分とは言いえない。特に進学コースのI類とII類それぞれの特徴を生かした授業展開は今後、引き続き検討研究していく必要がある。一貫教育を意図した東海大学福岡短期大学での「キャリアチャレンジ」授業は初めて2年生で実施したが、今後は進路と絡めた指導につながるよう期待したい。また昨年度から導入した新校務システム(Symphony)は概ね定着した感はある。今後も保護者との連携を密に取り、効果的に学習成果が出るよう改革、実行していかなければならない。</p>	教務部	[1]効果的に学力を伸ばすための授業態勢の構築。	①円滑な授業が行える時間割作成と運用 ②試験や行事により効果的に対応できる特別時間割の作成 ③効果的な45分授業のあり方の検討と定着 ④効果的なTT、STの配置とあり方の検討 ⑤授業時間を確保しながら学校行事の充実を図る	[1]
		[2]コース・類・クラスに対応した授業環境の推進	①教科と連携した公開授業・研究授業の推進とあり方の検討 ②一貫教育を見据えた短大との連携授業(東海キャリアチャレンジ)の改革と推進 ③理科と連携したサイエンスクラスの授業充実化のサポート	[2]
		[3]情報管理室、学年と連携した充実した教育環境の整備。	①無駄をなくしつつ、教材・消耗品等の円滑な供給をはかる ②教室・学習室・特別教室の効果的な配置、整備と管理 ③校務システム(Symphony)の円滑な運用とデータ提供	[3]
		[4]家庭と連携した生徒の授業に臨む姿勢づくり。	①保護者への確実な情報提供(成績・行事等) ②教室内の整理整頓と授業環境の整備(学年との協力推進) ③三者面談の効果的な実施と成績不振者への年間を通じた指導の推進	[4]
		[5]その他	①新教育課程、生徒の実情に対応しつつ業務の効率化を図る規定の確立	[5]
<p>ここ数年間、生徒の問題行動は減少傾向にある。だからこそ、次なるステップ(予防、公共心の育成など)の指導を心掛けていきたいと思う。生徒指導部は職員だけでなく、多職種で取り組むことが、その指導は徹底することができる。校則や生徒指導規定の周知徹底のもと、生徒の登下校のマナー、学校生活、家庭(寮)生活の意識を高めることができる教育・指導を行ってきたい。</p>	生徒指導部	[1]基本的な生活習慣の確立	①挨拶の励行(教職員間の挨拶の徹底、明るく爽やかな挨拶と正しい言葉遣いの推進) ②正しい服装の徹底(学年・クラスでの推進・各授業での指導、各集会での検査実施、身だしなみ指導) ③時間の厳守(教務、学年と連携して遅刻防止の推進、遅刻指導の徹底) ④環境の整備美化の取組み(清掃方法の指導、用具の運営管理、特別大掃除の推進)	[1]
		[2]指導体制の確立	①各学年との連携を取っての指導体制を図る	[2]
		[3]部活動の推進	①同好会、部活動(運動部、文化部、総合部、チャレンジ学習部)の参加者増員への取組み、学園オリンピック参加への推進 ②活動場所の確保と安全点検 ③部室管理(清掃、備品管理の取組、施錠の徹底)	[3]
		[4]安全教育的の推進	①校内施設安全確保と衛生点検の推進 ②自転車通学生の安全指導(登下校時の通学マナーの指導)	[4]
		[5]問題行動の防止と再発防止	①盗難防止と貴重品管理の徹底(持ち物への記名の徹底、自己管理の指導) ②携帯電話、不要物の校内持ち込みの防止 ③校内、校外巡回強化(通学指導、登下校指導の徹底) ④後援会生活指導委員との連携	[5]
		[6]生徒会活動の活発化	①生徒会行事の立案・実施と生徒の生活環境の整備・改善 ②学校行事・生徒会行事・地域活動・ボランティア活動への積極的な参加	[6]
<p>各学年との協力が十分であり、それぞれの指導が円滑にできた。特に3年生は進路決定率が各学年で、目的別の指導ができた。付属推薦人数は昨年とほぼ同数であったが、45%は達成できなかった。達成には進路指導部の指導に限定したものでなく、学校全体の指導を見直すことが今後の課題であると認識した。他の進路に関しては昨年以上の実績を挙げた。また、就職率は100%決定であった。1・2年生への指導、保護者への説明会なども参加者が満足できるものが実施できた。また、今年度は教員研修において教員対象の進路指導説明会も実施した。</p>	進路指導部	[1]一貫教育の推進～付属推薦入学者45%、他大学を含む進路決定率100%をめざした進路指導の徹底 その実現のための各学年との連携強化。	①付属推薦を大前提とした各学年との一層の連携 (ア)1学年・・・清水・湘南キャンパスへの『未来へのたび』を最大限に活用した東海大学のPR。 (イ)2学年・・・学部説明会と『現代文明論』授業での東海大学のPRおよび説明会等による推薦志望への導き。 (ウ)3学年・・・説明会・面談等による付属推薦希望者の確保、候補者決定後の効果的な学習指導。 導『東海キャリアチャレンジ』授業による福岡短大との連携の強化による福岡短大進学者30名の確保 (エ)各学年と連携した生徒・保護者対象説明会の開催。 ②東海大学熊本・阿蘇キャンパスとの連携。(生徒・保護者対象のオープンキャンパス等の企画と実施) ③特別奨励入学制度の積極的PRによる優秀な付属推薦入学者の確保。 ④『東海大学2014』やパンフレットなど情報提供による1年生から効果的な進路指導の充実。 ⑤体験留学(農学部・海洋学部)PRによる参加者の増加に向けた取り組み。 ⑥学校説明会における東海大学PRの推進。	[1]
		[2]効果的な進路指導	①他大学・短大進学者希望者に対する指導体制の確立。 ②学園基礎学力定着度試験や校外模試を活用した進路指導。 ③小論文指導・面接指導の取組み。「現代文明論」や3学年団との連携による指導体制の確立。 ④進路意識を高めるガイダンス等の実施。 ⑤専門学校進学者希望者への進路指導。	[2]
		[3]就職希望者への徹底した進路指導	①就職希望者への徹底した進路指導 ②ガイダンスや面接指導を充実して、内定率100%をめざす。	[3]
		[4]各種情報収集・整理および閲覧コーナーの充実	①東海大学関係をはじめとする国公立・有名私大・地元有名大学の資料提供。 ②他大学・短大等への説明会参加。 ③各模試のデータ活用。	[4]
		[5]スーパー特選αコース・βコースのそれぞれにおける目標設定とその充実。	①3か年にわたる指導計画の確立と授業担当者による連絡会の開催。 ②補習やチャレンジ学習部活動を通しての学力向上の推進。 ③風力・学力・体力の増進をめざしての早寝・早起き・朝ごはんの取り組みを推進 ④生活調査・学習状況調査などをもとにした確かな指導による生活改善をはかる	[5]
<p>11月の建学祭で外来者にも関しても保健委員などが中心となり、ヘルメット検査を実施し、好評を得た。また、2月に実施した『知的財産』を題材とした研究授業に2学年の教員がそれぞれ創意工夫を凝らした授業を展開し、好評を得た。他方、寮街の市販食品環境フェスタや、海岸清掃ボランティアなどにも積極的に参加した。国際交流に関しては、2月にマレーシア・バスター高校との間に姉妹校縁組が締結され、今後の国際交流の更なる活発化を推進していく土台が形成された。</p>	研究部	[1]生活改善プロジェクトの推進	①風力・学力・体力の増進をめざしての早寝・早起き・朝ごはんの取り組みを推進 ②生活調査・学習状況調査などをもとにした確かな指導による生活改善をはかる	[1]
		[2]高校現代文明論授業(創造性教育・知的財産学習を含む)の充実	①原点に立ち戻った『建学の精神』を主体とした現代文明論の内容構築 ②教員による研究授業 ③発表と評価	[2]
		[3]人権教育・同和教育・道徳教育の推進	①人権教育・道徳教育の推進による人権意識の高揚と「おもしろい心」の培養	[3]
		[4]教職員の必要に応じた研修の計画と実施	①教職員の必要に応じた研修計画と実施 ②生徒研修の充実(「みらいへのたび」「修学旅行」等) ③次年度に向けた生徒研修・修学旅行の内容検討	[4]
		[5]学校評価に向けた取り組み	①地域行事などへの参加による本校の教育活動を積極的にPR ②学校の目を最大限に活用した地域との一層の連携(本校の施設・設備の解放など)	[5]
		[6]国際理解に向けた取り組み	①外国語教育にとどまらない国際交流事業の啓蒙と推進(留学生等の受け入れ) ②アジア派遣研修事業(マレーシア・バスター校)への教職員・生徒の積極的な参加を推進	[6]
1学年	[1]基本的な生活習慣の確立(生活・コミュニケーション)	①校則の正しい理解とその遵守(日々のHRや学年集会でルールを守る意味を考えさせて理解を促す。全教員が共通理解・認識のもと指導を徹底する) ②爽やかな挨拶・適切な言葉づかいの励行(場所・状況にあった挨拶が出来る) ③出席の督促(正当な理由のない欠席・遅刻・早退をなくす。問題のある場合は直ちに家庭連絡で確認する。問題がある場合は自己管理能力の育成(時間の厳守・提出物提出の徹底) ④自己を尊重する精神の涵養(異なる考えを持つ者への理解 国際的理解を深める)	[1]	
	[2]学習意欲の向上と環境づくり	①高校の学習に対する心構えの指導(毎日の授業が最も大事) ②授業中の態度・提出物の状況の担任把握(教科担当者との情報交換) ③学習環境の整備(教室内の整理整頓、掲示物による学習意欲の向上への工夫) ④進路指導部と連携しての模擬試験・英検・漢検等への積極的な参加の奨励	[2]	
	[3]進路指導	①進路指導部・教務部と協力して東海大学の学部・魅力を紹介し、東海大学への関心を高めさせる。 ②将来の進路選択の可能性をより広く持たせるために、日頃の学習の大切さを理解させる。 ③スタディーサポートや模擬試験等を活用した進路意識の発揚	[3]	
2学年	[1]基本的な生活習慣の確立	①「早寝」「早起き」「朝ごはん」の習慣化(この徹底が全ての学校生活の活力となることを全教員が共通認識のもと指導する) ②挨拶・返事の励行(授業時挨拶の確立を基本とする。所作の美しい心のこもった挨拶を分け隔てなく行うよう指導する。語先後) ③出席の督促(正当な理由のない欠席・遅刻・早退をなくす。問題のある場合は直ちに家庭訪問する。家庭との連絡を密にする。8:40のチャイムの鳴り始めをもって遅刻とする。) ④美化意識の高揚を図り、清掃活動を徹底させる。	[1]	
	[2]態度教育	①「聞く姿勢」を身につけさせる。(学びの姿勢になっているかを確認し、その後にあらゆる指導を行う) ②HR・授業時(机を並べる、ゴミを拾う、挨拶の徹底、服装を正す、聞く態度の指導) ③集会時(集合時間の厳守、聞く態度の指導、歌唱指導)	[2]	
	[3]学習意欲の向上と環境づくり	①「自己改革は授業から」という意識を身につけさせる ②学習状況・理解度の担任把握(授業連絡票を活用する。教科担当者との情報交換、面談等) ③学習環境の整備(休み時間に次の授業準備をする。机は椅子の下に置く、ファインダー準備等) ④教務部・進路指導部・教科と連携してコース・クラス・類の目標に応じた学習指導の推進	[3]	
	[4]進路指導	①進路指導部・教務部と協力して進路情報を提供し、年度末までに進路の方向性を決めさせる(付属推薦での進学率をふやす) ②スタディーサポートや模擬試験を活用して個別面談を実施し、進路意識の高揚を図る	[4]	
3学年	[1]基本的な生活習慣の確立(社会人としてのマナー育成)	①校則の正しい理解とその遵守(朝服にて身だしなみチェックを行う。学年集会やHRなどで正しい理解を促し、全教員が共通認識のもと同じ目線で徹底した指導を行う。) ②挨拶の励行(学校にかかわる全ての方々に対して心のこもった挨拶をさせる) ③出席の督促(正当な理由のない欠席・遅刻・早退をなくす。問題のある場合は直ちに家庭訪問する。家庭との連絡を密にする。8:40のチャイムの鳴り始めをもって遅刻とする。) ④美化意識の高揚を図り、清掃活動を徹底させる。	[1]	
	[2]態度教育……社会で通用する価値観を身につけさせる	①「学びの姿勢」を身につけさせる(高校は自己成長の場であり、生活面・学習面において素直さ・謙虚さの大切さを理解させる。) ②HR・授業時(机を並べる、ゴミを拾う、挨拶の徹底、服装を正す、聞く態度の指導) ③集会時(集合時間の厳守、聞く態度の指導、歌唱指導) ④正しい言葉遣い(敬語)を身につける	[2]	
	[3]学習指導	(1)意欲の向上と環境づくり ①朝読書の効果的な取組み ②学習環境の整備(教室内の整理整頓、掲示物による学習意欲の向上への工夫) ③進路決定後、部活動引退後の学習指導の徹底 ④コースに応じた学習指導(模擬試験、チャレンジ学習、家庭学習、補習等) ⑤学園オリンピック、英検等の資格試験への積極的な参加(教科・進路指導部と連携して、 (2)大学進学を目指す学習指導 ①付属推薦進学者に対して、個々の生徒に応じた学習指導の実施 ②小論文指導の充実 ③推薦入試を意識した学習指導(進路指導部、特進担当者との連携)個別対応を行なう。担任は教科担当と連携し、志望校に応じた学習支援を行う。	[3]	
	[4]進路指導	①付属推薦者45%を確保するための取組み(東海大学熊本・阿蘇キャンパス、福岡短期大学との一層の連携強化) ②LHR、個人面談、三者面談を通じて、進路実現のための具体的な対策をとる。 ③面接指導、小論文指導、入試対策等、受験校にあわせた指導の取組み。	[4]	